

## (5月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
すいか類		6,571	96	6,553	227	99	226	-	-	<p>大玉すいかについては、熊本産は秀品率が高く生育はやや前進傾向。千葉産のハウスものは前年よりやや遅れの傾向で5月下旬から始まり6月上旬まで出回る。小玉すいかは茨城産中心の入荷となり、5月に入り入荷量は前年並に回復する見込み。</p> <p>すいか類総体の価格は消費地の天候にもよるが、前年並～やや安。</p>
メロン類		4,799	100	5,354	444	106	439	5	0.1	<p>アールスメロンは静岡を中心に、宮崎、熊本、高知産が出回る。作付面積は減少傾向。消費者の節約志向により価格は厳しい状況にある。</p> <p>アンデスの主力産地は5月中旬に熊本産から茨城産に移行する。茨城産については、シーズン始めはゆっくりと増量し下旬には入荷が回復し大玉果の比率も高まる。</p> <p>クインシーは熊本産の出回りに加えて、茨城産は前年より遅れて連休明けに始まる。茨城産はアンデスと同様、下旬に玉伸び、入荷量とも回復の予想。</p> <p>価格は月前半は堅調も、増量してくる後半は下げ足早まる。</p>
あまなつかん		2,354	102	2,165	155	104	180	-	-	<p>熊本、愛媛産とも販売は5月いっぱいまで。愛媛産は正品率が高く、入荷量は前年を上回るものの、主力熊本産が前年レベルのため、総体の予想入荷量はやや増。</p> <p>価格は小玉果だった前年よりやや高。</p>
みかん類		223	90	327	1,367	100	1,232	-	-	<p>ハウスみかん全体に面積減の流れは変わらない。今年は前年ほど重油高の影響はなく、年明けの天候も高めに推移したことから生育は概ね順調。</p> <p>生育は順調であるが、生産縮小と作型の移行等により、5月の入荷量は前年を下回ると予想される。走り商材ではあるが、消費環境は厳しく、品薄感が強まっている中、価格は前年並。</p>

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
おうとう		249	103	240	2,309	88	2,476	45	27.0	<p>主力山形産は年明けの気温が高めに推移し、生育ペースは前進傾向。露地ものは6月上旬に始まるが、霜害もなく、ハウスと同様、入荷順調の見込み。</p> <p>競合品目のマンゴーもあり、ハウスおうとうの販売は厳しいが、「母の日」前はギフト需要が高まる。月総体の価格は入荷増を反映し、弱めの展開。</p>
びわ		228	120	220	1,284	84	1,390	-	-	<p>主力長崎産の露地ものは連休明けから始まり、20日頃までハウス、露地の併用販売となる。年明けの天候は順調に経過していることから、5月は前年を上回る入荷量が期待できる。千葉産はハウス、露地とも前進傾向。</p> <p>本年産のびわは、シーズン始めから潤沢に入荷しており、5月も価格は軟調傾向。</p>
マンゴー		127	100	123	2,881	92	2,170	-	-	<p>主力宮崎産の生育遅れが回復したことから、5月の入荷量は前年並。入荷量が増える中旬以降は、価格は下押しとなり、一昨年のように高騰はない。</p> <p>ギフト需要全体の落ち込みから引き合いは前年より弱まるが、人気商材として位置づけは高く、販売堅調。</p>